

より質の高い口腔ケアのために
—口腔内細菌数測定で口腔環境を管理—



測定時間
約**1分**

細菌数表示

- 7段階表示
- 万単位数値表示

肺炎を予防するために口腔ケアは様々なところで実施されています
細菌数測定で口腔ケアの手法を評価することができます

活用場所：急性期病院・回復期病院・介護施設・在宅訪問診療・障がい者施設など



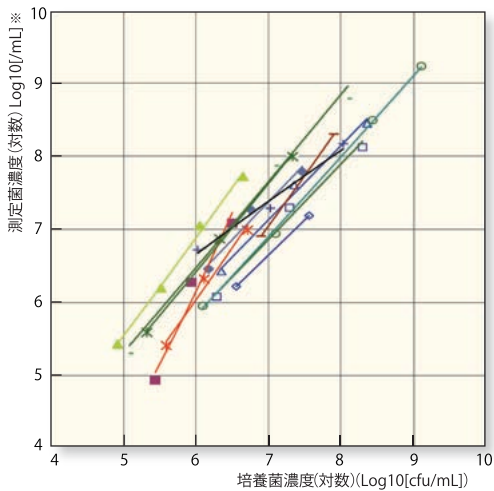
【高齢者向け口腔ケア】
口腔内細菌数が多く、更に嚥下障害があると誤嚥性肺炎のリスクが高くなるとわれています



【入院患者向け口腔ケア】
周術期口腔機能管理加算の施行により、多くの病院で口腔ケアが実施されています。口腔内細菌数は患者モニタリングの目安となります

高精度 DEPIMは口腔内の細菌において培養法との高い相関が確認されています

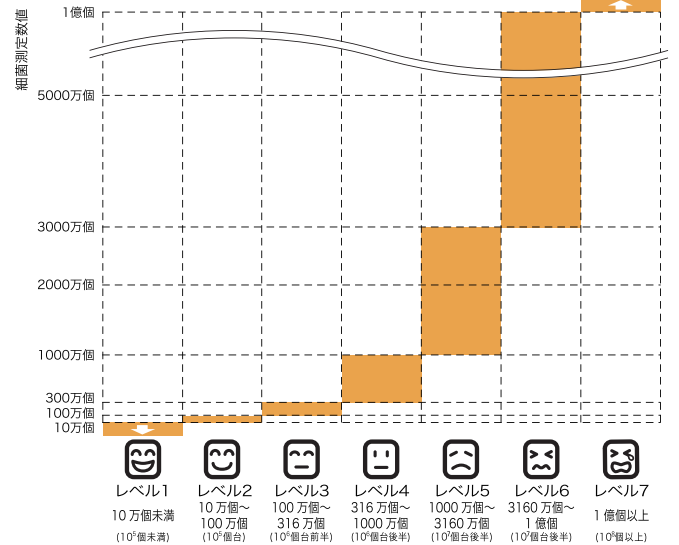
【個別菌種での相関】



- ◆ *E.coli* r=0.994
- *S.aureus* r=0.994
- ▲ *Paeruginosa* r=0.999
- ✕ *S.mutans* r=0.993
- ◇ *F.nucleatum* r=0.982
- *A.viscosus* r=0.999
- △ *T.forsythia* r=0.999
- *C.matruchotii* r=0.994
- + *P.intermedia* r=1.000
- *Capnocytophaga* r=1.000
- ✱ *E.corrodens* r=0.999
- *H.influenzae* r=0.999

【資料提供】 ※:換算値
東京歯科大学 微生物学:石原 和幸先生
徳島大学 口腔微生物学:三宅 洋一郎先生、弘田 克彦先生
Biocontrol Science, 2014, Vol.19, No.1, 45 - 49

【レベル表示】



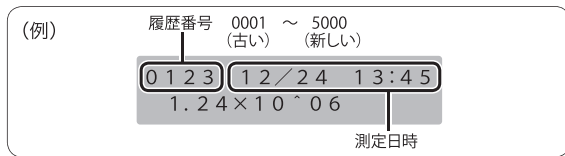
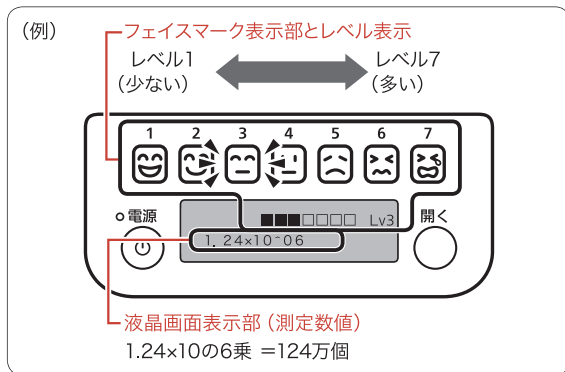
※検体1mL中の細菌濃度 (cfu/mL) 換算

【細菌カウンタに関する文献】

- Hamada, R., Suehiro, J., Nakano, M., Kikutani, T, Konishi, K.: 'Development of rapid oral bacteria detection apparatus based on dielectrophoretic impedance measurement method', IET Nanobiotechnol., Vol. 5, Iss. 2, pp. 25-31, 2011
- Takeshi Kikutani 1, Fumiyo Tamura, Yukihiko Takahashi, Kiyoshi Konishi and Ryo Hamada: 'A novel rapid oral bacteria detection apparatus for effective oral care to prevent pneumonia', Gerodontology 2011; doi: 10. 1111/j. 1742-2358.2011.00517.x
- Katsuhiko Hirota, Kazuyuki Ishihara, Yoichiro Miyake
Evaluation of a Rapid Oral Bacteria Quantification System Using Dielectrophoresis and the Impedance Measurement
Biocontrol Science, 2014, Vol. 19, No. 1, 45 - 49

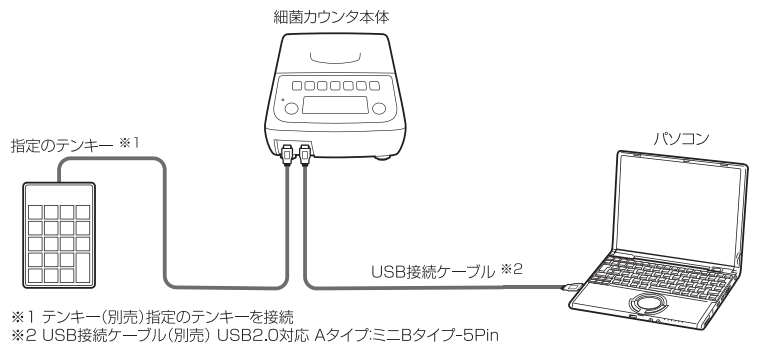
【測定結果・表示】

7段階のフェイスマークと万単位数値の測定結果表示



【データ管理】

- 保存データ
 - ・測定結果は5000件までのデータを機器本体に保存します
 - ・データ項目:日時・総細菌数・レベル
 - ・指定のテンキーを接続して、ID(12桁)・性別・年齢が同時に保存できます
- 保存データのパソコン取得
 - ・細菌カウンタユーティリティソフトをパソコンにインストールし、別売USBケーブルで本体とパソコンを接続すると、本体で保存していたデータをパソコンに取り込むことができます

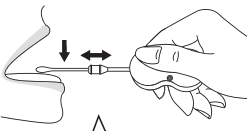


※1 テンキー(別売)指定のテンキーを接続
※2 USB接続ケーブル(別売) USB2.0対応 Aタイプ:ミニBタイプ-5Pin

【定圧検体採取器具の使用法】

(舌背中央採取の例)

採取方法には舌背中央採取の他に排唾法、歯頸部採取法など様々な採取方法がございます
詳しくは下記の資料をご参考ください



検体採取方法ガイド

監修:日本歯科大学 菊谷武先生
兵庫医科大学 岸本裕充先生

綿棒が定圧検体採取器具と水平になった状態で押し当てると一定の圧になります。

【付属品・測定消耗品】

- 付属品
- ①定圧検体採取器具
- 測定消耗品(別売品)
- ②ディスプレイカップ
 - ③専用滅菌綿棒
 - ④センサーチップ



■お問合せとご用命は…

【製造販売元】 **PHC株式会社**

管理部 カスタマーサポート課
〒530-6016 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8-30 OAPタワー16階
TEL:06-7688-5015 FAX:06-6136-1451

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。
●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。